

実践計画 第I期(2021~2025年)の体系図

重点	戦略	施策名	施策方針	キーワード	施策成果指標	基本事業	KPI	
重点	戦略	1 安全・安心・福祉	安全・安心な社会を構築するため、いつまでも健やかに暮らせるまちをつくりたい。 安心して暮らせるまちと感ずる市民の割合(市民意識調査) 2020年 84.3% →2025年 88.0%	1 防災	ハード整備と自助共助の意識を高めるソフト対策の両面を充実していく。	自助共助 国土強靱化	市民自身が災害への備えができていてと感じる割合	1 津波避難空白区域の解消 高師山津波避難タワーの進捗
				2 交通安全・防犯	地域住民、関係機関と市が一体となって交通安全、防犯活動に取り組む。	地域住民、関係機関の協力体制	交通事故発生数	2 自助・共助の強化 避難所運営訓練を実施した自主防災会の割合
				3 消防・救急	消防本部と消防団が連携し、災害対応力の強化を図る。市民の防火や救命に対する自助共助の向上を目指す。	自助共助	①火災発生件数 ②救急出動件数	3 危険箇所の改良 通学路の歩道整備率
				4 地域医療	湖西病院の病院機能の充実・強化を図るとともに、地域の医療者、施設と連携を図り、適切な医療サービスを提供する。	地域医療体制 PCR検査充実	地域医療体制に満足している市民の割合	4 防犯のバトロール強化 青色防犯バトロールの実施回数(市単独)
				5 健康	健康診断等による予防事業や高齢者の社会参加を通じ、市民の健康増進、重症化予防を目指す。感染症対策は、市民の安全を第一に考え、行動する。	健康寿命	介護認定率	5 防火指導体制の強化 一人暮らし高齢者の火災警報器の設置率
				6 福祉	地域で共に支え合い、福祉サービスと協働して、自分らしい暮らしを実現する地域共生社会を目指す。	地域包括ケア	市の事業による就労件数	6 応急手当の普及 住民等による心肺蘇生実施率
				7 廃棄物・上下水道	廃棄物の3R運動の取り組みにより家庭から発生するごみ量の削減を目指す。上下水道の安定供給、公共下水道整備を推進し、快適な住環境を提供する。	アセットマネジメント	調整中	7 湖西病院の強化 入院、外来の患者数
				8 道路	都市計画道路を整備しアクセスや利便性の向上を目指すとともに、歩道を整備し歩行者の安全確保を目指す。計画的に舗装補修を実施し、橋梁の長寿命化を図る。	(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路 老朽化対応	都市計画道路の整備率	8 地域医療の強化 休日夜間の医療体制
				9 ★公共交通	コーちゃんバスの効率的運行とデマンド型乗合タクシーの充実により、需要に応じた公共交通サービスを提供する。次世代の自動運転社会を見据え、官民連携による新たなモビリティサービスの提供を目指す。	デマンドタクシー MaaS	高齢者の自動車依存率	9 生活習慣病を予防 特定健康診査受診率
		2 結婚・出産・子育て・教育	未来の湖西のために、誰もが活躍できるまちをつくりたい。 0~14歳の人口(住民基本台帳) 2020年3月末 7,211人 →2025年3月末 6,600人	10 ★結婚・出産・子育て支援	産前・産後のフォローや子育て・保育教育施策を拡充することで、子育て世代の負担軽減を図るとともに地元で子どもを産み育てやすい環境を整える。	出産できる環境整備	子育て世代の満足度	10 介護予防の推進 いきいきサロン参加者総数
				11 学校教育	学ぶ環境を整え、時代のニーズに応じた教育を展開し、一人ひとりの資質や能力を高めていくことを通じて、教育を充実させる。	キャリア教育 ICT教育	学校が楽しい児童生徒数	11 地域包括ケアシステム オレンジネットワーク登録者
				12 生涯学習・スポーツ振興	地域行事や学びの場を通じ、誰もが能力を発揮し、育つ環境を整える。また、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を整える。	生涯学習	調整中	12 生活困窮者の自立支援 就労・増収率
				13 共生社会	国籍やマイノリティの垣根を越えて、互いの文化や価値観を認め合い、誰もが対等にいきいき輝いた暮らしができるまちを目指す。	多文化共生 男女共同参画	性別、年齢、国籍関係なく活動できると感じる市民の割合	13 障害者の就労支援 一般就労への移行者数
				14 ★産業活性	湖西のモノづくり産業の課題解決に向けた取組やモノづくり産業を支える人材育成を一体的に進める。	企業間・産学官連携	小中学生のモノづくり産業の認知度	14 家庭ごみの減量推進 ごみアプリの登録者数
				15 就業支援	働く意思のある誰もが、その能力を発揮し働くことができる環境を整える。	テレワーク 働き方改革 女性活躍	納税義務者数	15 水道事業の安定 水道事業経常収支比率
				16 ★工業・商業	市内企業の規模拡張や移転を支援し強靱化を図る。市外企業の新規立地等の需要に応える。商業の活性化を進めるために、意欲のある経営者の支援を行う。	商業・工業の持続的発展	商工業事業者数	16 公共下水道の整備 下水道整備面積累計
				17 農業・漁業	農地の集積・集約により、農業経営の効率化、高付加価値化を目指す。漁業経営の安定を図ることにより、漁業者の確保と浜名湖ブランドとしての水産物の安定供給を目指す。	農業・漁業の持続的発展	一次産業従事者数	17 大倉戸茶屋松線の整備 進捗率(工事延長ベース)
				18 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。	立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	18 鷺津駅谷上線の整備 進捗率(工事延長ベース)
		3 産業	持続的な経済の発展を実現するため、稼ぐまちをつくりたい。 市民の所得(個人住民税の総所得金額) 2019年度 934億円 →2024年度 934億円 製造品出荷額(工業統計) 2019年度 1兆7,328億円 →2024年度 1兆7,500億円	19 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	19 デマンドタクシーの充実 デマンド利用登録者数
				20 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	20 ★BaaSの推進 乗車人数
				21 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	21 母子保健相談の充実 困った時の相談先がある割合
				22 ★デジタル・スマートシティの実現	デジタル・スマートシティの実現に向け、市民の利便性や業務の効率性を高めるため、行政サービスのデジタル化を推進する。	デジタルトランスフォーメーション(DX)	マイナンバーカード普及率	22 ★保育の拡充 待機児童数
				23 行政経営	長期的な視点で効率的・効果的な行政経営や公共施設の適正化を図る。	持続可能なまちづくり	財政調整基金残高	23 放課後児童クラブの充実 待機児童数
24 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。			立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	24 ICT教育の推進 調整中		
25 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。			市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	25 教育環境の整備 小・中学校トイレの洋式化率 給食センター進捗率		
26 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。			シビックプライド	観光交流客数	26 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援 学校の授業がわかると答える児童生徒の割合		
27 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。			新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	27 生涯学習の推進 生涯学習講座受講者数		
4 交流	湖西への移住・定住を促進するため、多くのひととのつながりを築きます。 2021年4月から2026年3月までの5年間の人口社会増減±0	28 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	28 図書館を拠点とした活動強化 人口1人当たりの貸出冊数		
		29 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	29 スポーツ推進 体育施設の利用者数		
		30 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	30 交流イベントの開催 交流イベントの延べ参加者数		
		31 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。	立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	31 日本語教育の充実 日本語教室講座数		
		32 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	32 調整中		
		33 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	33 ★モノづくり人材育成 企業見学、出前授業件数		
		34 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	34 若者の就業支援 若者向けイベント等の参加者数		
		35 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。	立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	35 女性の就業支援 女性活躍推進事業セミナーへの参加者数		
		36 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	36 高齢者の就業支援 高齢者対象の無料職業紹介による就職者数		
持続可能な発展のために	持続可能な発展のために	37 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。	立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	37 浜名湖西岸土地区画整理の推進 事業の工業用地の活用率		
		38 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	38 ★企業立地の促進 制度を利用した立地件数		
		39 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	39 ふるさと納税による産業振興 ふるさと納税協力事業者数		
		40 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	40 農業経営の基盤強化促進 認定農業者数		
		41 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	41 担い手への農地の集積・集約 農地中間管理事業での集積面積		
		42 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	42 漁業資源の確保 年間水揚げ		
		43 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	43 ★土地の有効活用促進 市街化区域内の未利用地面積		
		44 ★住環境	土地の有効活用を促進し、良好な住環境を創出する。また、住環境を改善するため、畜産臭気対策に取り組む。	立地適正化計画による誘導	市街化区域内の人口	44 ★畜産臭気対策 生活の中で悪臭を感じる人の割合		
		45 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	45 環境学習の推進 環境学習参加者割合		
重点	戦略	1 安全・安心・福祉	安全・安心な社会を構築するため、いつまでも健やかに暮らせるまちをつくりたい。 安心して暮らせるまちと感ずる市民の割合(市民意識調査) 2020年 84.3% →2025年 88.0%	46 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	46 花と緑のまちづくり推進 花苗の配布数
				47 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	47 郷土愛の醸成 国内外の友人に湖西市へ訪れてもらいたいと思う市民の割合
				48 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	48 浜名湖の自然と東海道の歴史 SNS登録者数
重点	戦略	2 結婚・出産・子育て・教育	未来の湖西のために、誰もが活躍できるまちをつくりたい。 0~14歳の人口(住民基本台帳) 2020年3月末 7,211人 →2025年3月末 6,600人	49 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	49 体験観光受入体制強化 サイクリング通行量(定点・1日)
				50 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	50 ★マイホーム取得者へのアプローチ 住もっかこさい定住促進奨励金年間申請者数
				51 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	51 新婚世帯へのアプローチ 新婚さんこさいへおいでん応援金年間申請者数
重点	戦略	3 産業	持続的な経済の発展を実現するため、稼ぐまちをつくりたい。 市民の所得(個人住民税の総所得金額) 2019年度 934億円 →2024年度 934億円 製造品出荷額(工業統計) 2019年度 1兆7,328億円 →2024年度 1兆7,500億円	52 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	52 新社会人へのアプローチ 奨学金返還支援年間申請者数
				53 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	53 ★市民向けサービスの向上 デジタル化実施件数
				54 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	54 庁内事務の効率化 デジタル化実施件数
重点	戦略	4 交流	湖西への移住・定住を促進するため、多くのひととのつながりを築きます。 2021年4月から2026年3月までの5年間の人口社会増減±0	55 観光振興	「浜名湖」と「東海道」のブランドを活かして高いニーズに応えるプロモーションを行い、サイクリングやウォーターアクティビティ、産業体験やまちあるきなど市の魅力を五感で感じる体験観光を充実させる。	シビックプライド	観光交流客数	55 再配置個別計画の推進 公共施設総床面積縮減率
				56 ★移住定住促進	ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ対象者に適切にアプローチし、必要な支援を実施することで、湖西市が移住定住の選択肢となることを目指す。	新しい生活様式の需要 取り込み プロモーション戦略	支援制度による転入者数	56 持続可能な行政運営 調整中
				57 自然環境	「自然と環境に配慮したきれいなまち」を望ましい環境像とし、次世代に引き継ぐ。	市民参加	自然環境が豊かであると感ずる市民の割合	

★は重点施策、重点基本事業。背景青色は「働いて」、背景赤色は「暮らす」に対応する内容。

「ひと・自然・業(わざ)」が「つながり」未来へ続く わがまち K O S A I

働くまちから 働いて暮らすまちへ 「職住近接」